

結果分析の詳細（小学校）

（1）各教科に関する調査（○、●は県の平均正答率と比較し顕著な項目）

① <国語の結果分析>

- 文章の種類とその特徴について理解しているかどうかをみる問題【言葉の特徴や使い方に関する事項】
- 必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉えることができるかどうかをみる問題【話すこと・聞くこと】
- 日常よく使われる敬語を理解しているかどうかをみる問題【言葉の特徴や使い方に関する事項】
- 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる問題【書くこと】

〔改善に向けた取組み〕について

文章の種類や特徴の理解については、一定の定着がみられるものの、敬語の使い方やその理解に課題がみられました。日頃、児童は敬語に触れる機会が少ないため、作文や手紙を書く活動をとおして、使用場面を意図的に設定することで、指導の充実を図ります。また、自分の考えをまとめたり、書き表し方を工夫したりすることにも課題がみられるため、条件に合わせた文章を書く活動から他者との意見交流をとおして、相手にとっても理解しやすいよう、自分の伝えたいことをより明確にまとめる力の育成に努めます。

② <算数の結果分析>

- 台形の意味や性質について理解しているかどうかをみる問題【図形】
- 正方形の意味や性質について理解しているかどうかをみる問題【図形】
- 加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりすることができるかどうかをみる問題【数と計算】
- 百分率で表された割合について理解しているかどうかをみる問題【変化と関係】
- 高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる問題【図形】
- 示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる問題【データの活用】

〔改善に向けた取組み〕について

基本的な図形の性質の理解や基礎的な計算技能の定着について、一定の成果がみられました。一方で、図形の性質を活用して見取ることや割合の理解に課題がありました。問題場面や状況をしっかり把握するとともに、課題解決に向けて、必要な情報や条件を見いだす力の育成に努め、知識・技能を主体的に活用できるよう指導の充実を図ります。また、【データの活用】領域においては、複数のグラフから目的に応じて必要なデータに着目し、その特徴や傾向を踏まえて自らの考えを説明・表現できる力の育成に努めます。

(2) 児童質問紙による調査 (○、●は肯定的回答の割合の顕著な項目)

- 「将来の夢や目標を持っている」
- 「人の役に立つ人間になりたい」
- 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる」
- 「読書が好きである」
- 「授業で学んだことを、ほかの学習に生かしている」

「将来の夢や目標を持っている」の項目では、肯定的回答の割合が県平均より高い傾向にあることから、さまざまな学習活動や体験をとおして、児童の積極的な姿勢を大切にするとともに、意欲の向上が図られるよう努めていきます。また、「人の役に立つ人間になりたい」の項目においても肯定的回答の割合が高いことから、他者への思いやりや優しさがみられるとともに、将来の自分自身に対して、前向きでいることが伺えます。今後も、【学び合い】による授業づくりをとおして、他者と協働する姿勢を大切にした教育活動に取り組んでいきます。

一方で、「読書が好きである」「授業で学んだことを、ほかの学習に生かしている」の項目で、肯定的回答の割合が県平均より低い傾向にありました。学校図書館や読書タイムを効果的に活用し、読書習慣の定着を図っていきます。また、学習内容を日常生活の場面に関連付けたり、教科横断的な学びに発展させたりすることで、児童の学びを深めていけるよう努めていきます。